

あけぼの山公園さくら山保全再生実施計画図

■整備方針

- 踏圧防止対策として園路を整備
- 既存の桜にかからないよう配慮し、回遊性を向上
- 北側ゾーンは、薄暗い状況を明るくするよう配慮
- 地域の恒例行事となっている「桜祭り」を持続可能とすること
- 「桜の名所」として地域の観光資源となるよう配慮

【特色1】
二期（春と秋）咲き桜

北園路（W=2.0m程度）
・既存舗装撤去

メイン園路（W=3.0m程度）
・既存舗装撤去

新植した道路沿いの桜の育成状況を見て将来的に伐採

南側道路沿いの桜の植え替え

芝生広場（運動広場）
・イベント時は観覧席として利用

コナラの大木
日本庭園への眺望を楽しむ休憩地

日本庭園からの見栄えに配慮した整理（常緑樹伐採等）

ソメイヨシノ花見ゾーンの保全再生整備

- ・シンダイアケボノの補植
- ・既存ソメイヨシノの保全対策（植栽基盤改良）
- ・中心に近いゾーンはさらにロープ柵等による規制の上、芝生広場化

【特色3】
シンボルツリー
・直径10m程度の植栽基盤（当面はロープ柵等で柔らかくに立入りを規制）

■植栽設計の方針

- ・桜を主な対象として植栽基盤の改良を行う。
- ・ソメイヨシノの品種更新/補植（シンダイアケボノ）を行う。
- ・二季型の楽しみ方を創出するため、桜類やモミジを補植する。
- ・多様なレクリエーション機会を提供するため、重要なエリアには芝生などの地被類を植栽する
- ・斜面などの既存樹林に対し樹木管理の方針と手法を提示する

■植栽計画概要（新植 91本、保全 112本）

- ・新植（台地上桜）約 52本
 - ・シダレザクラ 1本
 - ・シンダイアケボノ 27本
 - ・アーコリード 17本
 - ・カワズザクラなど7本
- ・新植（斜面）約 39本
 - ・ヤマザクラ 10本
 - ・シンダイアケボノ 4本
 - ・カワズザクラなど5本
 - ・モミジ 20本
- ・保全対策 約112本
 - ・斜面伐採（別途伐採ガイドラインにより実施）
- ・桜の本数 約350本（整備完了時）

【特色2】
多品種桜植栽
・カワズザクラ、タイリョウザクラなど

